

文獻の存するものなく、林制の経過明らかでない。明治三年三月御林山等の中、水持・雪持・風除等の目的に添ふものを除き、他は悉く民間に拂下げた。

オハヤシシンカイ 御林新開 現に藩有林たる地を新開して田畑とするをいふ。御林中にも樹木の生育せずして有名無實のものがあ

るから、村方稼山の中に代りの御林を設定し、前の御林新開を出願する時は許されることもあつた。

オヒカハ 追川 一册。美川の伴人半睡の編。元文中初冬の自序があり、京橋屋治兵衛の板行。麥林門下で金澤の人麥袴園曾平の發句連句を輯録したものである。

オビカベ 帶壁 ↓タテカベ 帶壁。
オヒガラ 御日柄 將軍又は藩侯歴世の忌日をいひ、殺生等を禁止した。その年回甚だ遠きに至る時は御日柄の目から除いた。

オヒコミ 追込 農民の微罪を罰するに追込があり、身柄を組織許に預け、番人を附するものである。町人にも追込があつて、寛政五年郡全部を閉さねばならぬことになつた。士人の閉門に類似する。

オビシヤマ 帶仕山 能美郡粟津に在る。昔この地に堡寨を設けた某が、山の中腹に水を引いた時、恰も帯を纏ふ如くに見えたからだとの傳説を有する。『後にも肌をゆるさじ帶仕山 千代』

オヒズミマツリ 追澄祭 羽咋郡氣多神社の祭儀で、舊三月三日に行つたが、今は四月三日とする。大神が凶知瀧の毒蛇を射留め給うたといふ狀を模するもので、蛇の目的を射る古式を行ふ。

オヒスルガダケ 笈ヶ岳 石川郡の東南に在つて、加賀・飛騨・越中三國に跨る。高さ一八四一米。山頂有英租面岩。一に笈山・劍嶽ともいひ、佳字を老鶴山とも書く。登路は中宮から一三軒餘。嘗て山中から經筒を發見した。↓キヨウツツ 經筒。

オヒスルサガシ 笈搜 幸若の謠物の中に富樫及び笈搜の二曲がある。笈搜は富樫の後を受けるもので、義經・辨慶の主従相携へて、先づ佐羅武明神に詣で、舟に乗じて珠洲岬に出で、迂回して越中に入り、越後の直江津から復海上に浮び、次いで寺泊に上陸し、鼠つきの關に向かふとき、義經があいのふに身を扮して通過したとするものである。故に幸若の笈搜は、義經記の『如意の渡にて義經を辨慶うち奉る事』の條を、鼠つきの關に變じて添へたものであらうと思はれる。

オヒスルサガシイカノキ 笈搜追加之記 享保二年馬淵高定の著す所で、前記幸若の笈搜に關する考證である。その中に義經が能登を通過したとする、大野湊神社の神主河崎秀憲の説などが載せられてゐる。

オヒダシ 追出 百姓又は村役人の刑に追出しがある。田地家財を沒收した上、他郡の住民稀少なる地に移すもので、妻子も之に隨ふことを要し、その住所の定まらざる間は、組織許預又は入牢にせられた。

オヒテ 生出 鹿島郡熊淵のうちの小字。
オヒテノタキ 生出の瀧 鹿島郡熊淵小字生出にある。能登誌に、『生出といふ所に數十丈の瀧あり。布引の瀧ともいひつべき程の名瀧なり。』とある。

オヒロシキ 御廣式 ↓ニノマルオヒロシキ

キニ丸御廣式。カナヤオヒロシキ 金谷御廣式。エドオヒロシキ 江戸御廣式。
オヒワケ 追分 ↓オヒワケ 老分(白山)。

オヒワケ 追分 鹿島郡熊野の内の小字。
オプツデン 御佛殿 金澤城外甚右衛門坂下に在つて、城内の東照宮に附屬する別當所と同一境内に在つた。十二册御定書に『御佛殿は寛文二年御造營』といひ、壬寅妄志に『大猷公御佛殿、郭邊。御佛殿御同座嚴有公常憲公也。但當分御別當所安置』とあるから、徳川家光の靈牌を安置する爲に創置した所と見える。↓ジンゴジ 神護寺。

オプツデンナラビニベツトウヤシキウケト リビケシ 御佛殿並別當屋敷請取火消 ↓ウケトリビケシ 請取火消。
オヘヤツキ 御部屋附 藩の世嗣たるべきものに附屬する士を御部屋之内御附といふた。前田吉徳の世嗣であつた時に元祿十一年八月十七日初めて不破彦三爲貞に命ぜられ、江戸御留守居から兼務した。十二年六月十六日菊池十六郎武康、十六年前田權佐恒長、寶永六年八月藤田内藏允安勝、永井織部正良もこの職を命ぜられたが、皆吉徳の未だ家督を相續せざる間に隱居或は死去した。又前田宗辰の世嗣時代の御附は、享保十二年前田權佐恒篤・菊池十六郎武敬・品川主殿雅武の三人に仰付けられたが、何れも寛保年間に轉役した。又前田齊廣の御附は寛政八年十月十日成瀬左近種徳が命ぜられ、九年横濱善左衛門玄英・十年藤田求馬安貞に仰付けられた。成瀬・横濱は後に御近習御用となつた。又前田齊敬の御附は天明七年十一月十五日西尾準人明

義・織田主税益方・前田左衛門直央三人に命ぜられたが、寛政七年齊敬の逝去後に悉く轉役した。

オホアナモチミカタイシノジンジャ 大穴持像石神社 羽咋郡一宮寺家に鎮座する。式内等舊社記に、『大穴持像石神社。式内一座。邑知郷一宮寺家村鎮座。以石爲神體。』とあり、三代實録に『貞觀二年六月九日能登國大穴持神・宿那彦神像石神並列官社』とあるものはである。中比於奈知宮と稱したが、明治六年頂社に改め、十年大穴持像石神社に復した。

オホアラシヤマ 大嵐山 能美郡桑島の東南にある山。高さ一二〇二米。山體係繩系。
オホイケ 大池 河北郡白元山及びその前山なる中、平山の間に在る池。金澤人はこの附近を一般に醫王山といひ、この池も亦醫王山の大池と呼ばれてゐる。面積二六五〇平方米。中央に座禪石がある。

オホインゲンテツ 大石玄哲 本道の醫師で、前田利常に召抱へられ、大坂着米三百石外に五十俵を賜はり、寛永申利常に小松に従ひ、その薨去の後金澤に還り、寛文七年歿し

た。

オハ—オホ